



Instagram



ニュースタイル ハッスル カノヤ
New Style Hustle KANOYA 代表
メイプルキッズダンススクール 講師

ちば あい さん 千葉 愛 さん

5歳から22歳までクラシックバレエを習っていて、高校生の頃にはバレエ教室で子ども達に教えながらレッスンを受けていました。23歳の時に見たテレビ番組で、ストリートダンスチームのパフォーマンスの格好良さに感動。そのチームが鹿児島市内で開いたワークショップに参加したことで、ストリートダンスのジャンルの1つである「HOUSE」や「WACK」等を専門的に学びたいと思い上京を決意しました。

東京では週に5回のレッスンやイベントに参加しながら、飲食業やコンビニエンスストアの従業員として働いていました。コンビニの担当販売エリアで売上成績を36位から2位に上昇させた経験もあるなど、ダンスと並行しながらも仕事の結果もついてくる中で「得意なことを人のために活かすこと」の楽しさを学んだ日々だったように思います。

夫との結婚を機に4年前に帰郷。ニューヨークで生まれた、最新のペアダンスのジャンル「New Style Hustle」(以下「NSH」)を鹿屋で夫と共に学び、練習を積みました。NSHは未経験者でも楽しく踊れて、踊った後に自然とハイタッチが出るような自由なスタイルのダンスで、鹿屋の人達にマッチしていると感じました。そして、NSHをぜひ鹿屋で広めたいという思いを抱くようになり、ダンスコミュニティ「NSH KANOYA」を立ち上げました。

コロナ禍だからこそ、大人がいきいきとダンスを楽しむ様子を見せることで、子どもにも夢と希望を与えることができると思っています。これからダンスを教えたりイベントに出演したりする中で子どもたちの夢を実現する手助け、まさに「夢のかけはし」になれるよう、ふるさとへの熱い想いを原動力にして努力し続けたいです。



【右】令和4年10月23日には、大隅湖レイクサイドフェスティバルでメイプルキッズダンススクールの生徒たちと出演

【中】夫もダンサーで、WACKダンスの先駆者である千葉 真吾 さん

【左】令和4年12月4日に開催された、西大手町のCHRISTMAS MARKETでのステージの様子

information

鹿屋市出身。23歳で上京し4年前に帰郷。上京中でも鹿屋のことをひと時も忘れたことが無いほど鹿屋が大好き。飲食業の経験から創作料理が得意。モットーは「DANCE=LIFE」で、つらいことも嬉しいことも、ダンスを通じて表現することが楽しくてたまらないと語る。